

Table 2.

FREQUENCY OF HLA ANTIGENS IN D. M. P.
(DUCHENNE TYPE)

II. HLA LOCUS B

Antigen	Patients (n=53)		Controls (n=176)	
	No. Case	%	No. Case	%
HLA-B5	15	28.3	61	34.7
HLA-B7	11*	20.8	14	8.0
HLA-B8	1	1.9	0	0
HLA-B12	8	15.1	31	17.6
HLA-B13	1	1.9	8	4.5
HLA-BW15	7	13.2	32	18.2
HLA-BW16	2	3.8	18	10.2
HLA-BW17	0	0	1	0.6
HLA-BW21	0	0	0	0
HLA-BW22	17	32.1	34	19.3
HLA-BW35	3	5.7	34	19.3
HLA-BW37	2	3.8	0	0
HLA-BW40	13	24.5	62	35.2

* $\chi^2 = 5.60$ $p < 0.022$

12. DMPのミトコンドリアGOTについての研究

国立療養所宇多野病院

野口貞子 北野治男
小西哲郎 池上佳典
太田光熙 遠藤二郎

〔目的〕

従来よりDMP患者では病初期血清CPK、GOT、LDHが高値を示し、疾病の進展とともに低下する傾向を示す事は、諸家の報告により明らかである。しかしこれらの酵素の動態について

ては、まだ十分には解明されていない。そこで我々は、和田らの開発による免疫沈降法を用いて血清中のGOTを可溶性の soluble GOT (s-GOT) とミトコンドリアに局在する mitochondria GOT (m-GOT) に画分し、総GOTに対するm-GOTの割合(百分率)を計測し、患者の病期(障害度)との関連性についての検討を行ったので報告する。

【方 法】

対象はDMPの Duchenne 型28例、肢帯型5例、先天型10例、脊髄型9例(但しこの中には、benign Werdnig Hoffman、Charcot Marie Tooth 病、Kugelberg Welander 病を含む)の計52例である。方法はGOTの測定については Centrifl - Chem System (UV法)で行い、m-GOTの測定には、栄研の s-GOT 抗体に、被検血清 0.3 ml を加え、室温で遠沈して抗原-抗体複合物を除いて、上清に残ったm-GOTについては、未処理の t-GOT から m-GOT を減じた値を用いた。

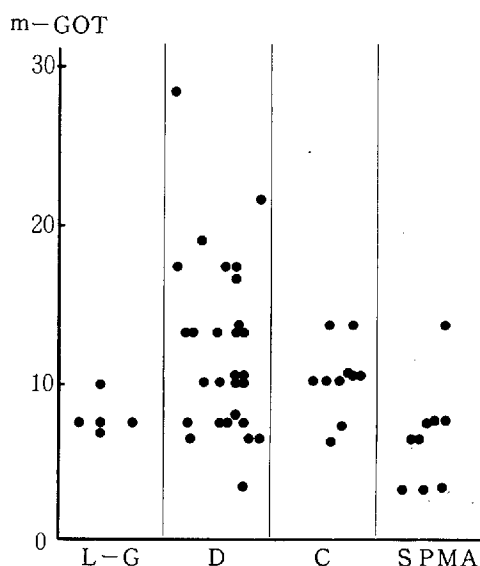
【結 果】

- (1) 正常者10人の t-GOT に対する m-GOT の比率は $49.3 \pm 12.2\%$ であり、DMP では $39.7 \pm 2.8\%$ となり DMP では低値であった。
- (2) 各タイプ別の m-GOT の値は、Fig 1. に示すように Duchenne 型が C PK、LDH と同じく最も高値であった。
- (3) Fig 2. に 8 段階法による障害度と総GOTに対する m-GOT の割合を百分率で示した。パーセント m-GOT と障害度との間には $y = 4.69x + 13.31$ ($r = 0.41$) の正の相関がみられた。

【考 察】

大野らによると DMP (Duchenne 型) では、m-GOT も C PK、t-GOT と同様に病初期の方が高いと報告しているが我々の成績からは、t-GOT は障害度が進むにつれて減少するのに対して m-GOT は殆んど変化しない為に、パーセント m-GOT は、病期が進むにつれて高値となった。これは DMP では病像の進展により Soluble GOT が、細胞膜より遊出してしまいミトコンドリアに局在する GOT はかなり最後まで残ることを示すもので C PK のミトコンドリア画分の測定が困難な現在治療あるいはプレドニン等の負荷テスト時これらの酵素の異常を検討する上で有力な

Fig 1. 各タイプ別 DMP の m-GOT 値



手段となりうると考えて報告した。

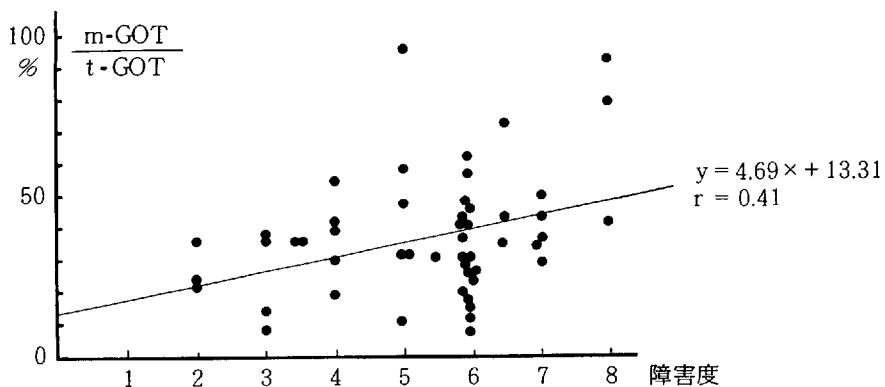


Fig 2. 障害度と総GOTに対する m-GOT の割合

13. 進行性筋ジストロフィー症および筋ジストロフィーマウスにおける血球膜の異常

国立療養所宇多野病院

野口 貞子* 神奈木 玲 児
小西 哲 郎 北野 治 男
吉岡 三恵子

〔目 的〕

進行性筋ジストロフィー症（以下DMP）においては従来から赤血球をはじめとする血球細胞膜の構造的なあるいは機能的な各種の異常が観察されることが報告されている。我々は今回、DMP症患者および筋ジストロフィーマウスの膜異常の検出の為に赤血球の浸透圧抵抗と、各種血液細胞膜の流動性を測定検討したので報告する。

〔方 法〕

DMP患者は、国立療養所宇多野病院入院中の患者（24名）、筋ジストロフィーマウスは本研

↓ 検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用 ↓
論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります

〔目的〕

従来より DMP 患者では病初期血清 CPK、GOT、LDH が高値を示し、疾病の進展とともに低下する傾向を示す事は、諸家の報告により明らかである。しかしこれらの酵素の動態については、まだ十分には解明されていない。そこで我々は、和田らの開発による免疫沈降法を用いて血清中の GOT を可溶性の soluble GOT(s-GOT)とミトコンドリアに局在する mitochondria GOT(m-GOT)に画分し、総 GOT に対する m-GOT の割合(百分率)を計測し、患者の病期(障害度)との関連性についての検討を行ったので報告する。